

平成十九年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「夏」

期間 平成十九年五月一日～七月末

投句数 二、七六九句

特選三句

天

夕立や托鉢僧も軒を借り

神奈川県鎌倉市 本阿弥光敬

地

薰風や書院の墨の香を散らす

神奈川県鎌倉市 岡田 昭

人

泰山木一花開祖の忌なりけり

神奈川県横浜市旭区 志摩 あき

入選句

一般の部

若葉風花嫁を待つ人力車

静岡県富士市

藤田幸次郎

万霊の鎮む若葉の浄妙寺

東京都多摩市

中山正喜

ホトトギス鳴くや鎌倉切通し

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

雑沓や青葉若葉の古都大路

神奈川県横浜市栄区

葭谷健一

御仏も背中を開く暑さかな

千葉県千葉市稲毛区

佐渡里恵子

風にのり夏うぐひすの遠こだま

愛知県一宮市

五十嵐きく

栄西の開基の禅寺月見草

神奈川県逗子市

佐藤信子

あともどりすることはなしあめんぼう

神奈川県横浜市神奈川区

堺 布子

老鶯の声よく通るそば処

神奈川県横浜市緑区

伊藤とく

琴流る鎌倉山の夏料理

神奈川県横浜市

菅原文子

禅門をくぐる一步や時鳥

神奈川県横浜市金沢区

井出佳子

一服の茶に歴史あり栄西忌

神奈川県鎌倉市

土山忠滋

老鶯や文学館の石畳

兵庫県芦屋市

荻野美保

目つむれば立子涼しき椅子にあり

神奈川県茅ヶ崎市

深瀬達郎

久方に鎌倉訪へばほととぎす

神奈川県横浜市泉区

細田かほる

(順不同)

入選句

子供の部

新緑の中でのお茶はおいしいな

群馬県渋川市

古嶋はる菜

八幡宮暑さに負けない大銀杏

群馬県前橋市

藤生千隼

子供の日いざ八幡宮剣道だ

神奈川県横浜市港北区

笠間拓人

あじさいときれいな海がよく似合う

東京都品川区

野々山斗南

雨の中紫陽花がみな歌ってる

神奈川県鎌倉市

荻野七彩

あかとんぼゆうひのいろとおなじいろ

神奈川県川崎市川崎区

檜皮恭平

りよくいんで鐘をたたけばきれいな音

東京都八王子市

志田紗恵子

かまくらのれきしにふれた夏休み

神奈川県横浜市都筑区

浜本壮太

なつやすみかぞくそろってかまくらへ

神奈川県厚木市

富水克哉

鎌倉に海と若葉と文化あり

神奈川県横浜市旭区

中田直輝

夏料理大仏さんは何が好き

神奈川県平塚市

野中大樹

つばめの子巢立ちの時を待っている

神奈川県横浜市磯子区

松本芙実

あじさいを見たいのならば鎌倉へ

神奈川県厚木市

松本彩芳

寺の庭風鈴の音がきこえてくる

埼玉県狭山市

海野馨杜

リスと会う梅雨の終わりの高德院

埼玉県狭山市

宮岡千尋

(順不同)